

令和7年度習志野市災害医療本部及び応急救護所設置運営訓練 反省結果

できた ○
 できなかった ×
 どちらでもない △

| 応急救護所 | | | | | |
|---|---|----|----|----|--|
| 【到達目標①】応急救護所において、設営手順(場所・位置)や物品の取り扱い方(発電機・ライト・無線)、校内にあるAED等使用物品が役割に関係なく確認・設営できる。 | | | | | |
| | 保健会館 | 1中 | 2中 | 7中 | 備考 |
| ①倉庫等の開錠方法を理解し災害備品・医薬品の保管場所・AEDの設置場所を確認できた | ○ | ○ | ○ | ○ | 【2中】 ・総合防災訓練で体育館、防災倉庫が開錠していたため、体育館内で集合したが、体育館が施錠されている想定で体育館前に集合するべきだった。 |
| ②発電機・バルーンライト・無線等物品の扱い方を確認できた | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ③災害備蓄している救急セット・医薬品・物品等内容を確認できた | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ④物品について | | | | | |
| 確認し不足していたもの | 【1中】 ・ホワイトボード(借りる予定だったものが体育館の避難所訓練で使用していた。) 【2中】 ・防災マップの更新があれば確認してほしい。 ・防災倉庫のキーボックスが錆びついているためか、開けなかった。 【7中】 ・電池(単1) | | | | |
| 使用できないもの | 【1中】 ・借りた長机が破損していた。3台は必要ではないか。 【7中】 ・ライト | | | | |
| あったらよいもの | 【保健会館】 ・延長コードリール 【1中】 ・滅菌精製水(薬剤師会より) ・エアークッションや座布団(救護所が外であるため、床が冷たくて硬い。体育館の運動用マットは使用できないのか) | | | | |
| ⑥配置図をみながら設営できた | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ⑦今回の訓練で配置図を変更した点 | 【2中】 ・バルーンライトの設置場所は考慮する必要がある。体育館と武道場の2台なくて有事の際困らないか。 | | | | |
| 【到達目標②】START法による一次トリアージの理解が深まり、応急救護所で協力し合いながら、的確なトリアージができる。また、応急救護所において、トリアージ症例を通じ、傷病者受け入れ後の一連の流れを確認する。 | | | | | |
| | 保健会館 | 1中 | 2中 | 7中 | 備考 |
| ①傷病者受付～トリアージ～傷病者の搬送依頼の流れが理解できた | ○ | ○ | ○ | ○ | 【2中】 ・受付表記載する担当とトリアージタグに記載する人が別のほうがスムーズではないか。 【7中】 ・流れは理解しているが、実際に動く確認事項が多々ある。(トリアージの取り扱い方法等) |
| ②机上訓練で一次トリアージの手順を確認し、トリアージタグに傷病者の状況を記入・処理できた。 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ③各記録用紙を使用できた | ○ | ○ | ○ | ○ | 【7中】 ・受付物品が入ったBOXを共有する必要がある。 |

| 【到達目標④】災害医療本部・応急救護所との情報伝達訓練により、重傷者の搬送に至るまでの流れを確認する。 | | | | | |
|--|------|----|----|----|---|
| | 保健会館 | 1中 | 2中 | 7中 | 備考 |
| ①音声での通信ができた | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ②無線担当者と記録担当者の連携がスムーズにいった | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ③画像伝送ができた | ○ | ○ | ○ | △ | 【2中】 ・傷病者リストを送信してから、本部から搬送許可が出るまで50分要した。 【7中】 ・Bluetoothが繋がらず解決することに時間がかかった。 |
| ④印刷ができた | × | △ | × | ○ | |
| ⑤随時応急救護所責任者へ報告できた | ○ | ○ | ○ | △ | |
| ⑥無線で得られた情報をホワイトボードに記載できた・整理できた | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 【到達目標⑤】アクションカードを用いて各自の役割を認識し、その役割を担うことができる。 | | | | | |
| | 保健会館 | 1中 | 2中 | 7中 | 備考 |
| ①各自の役割を実施できた | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ②手が空いている時に、他の役割をサポートできた | ○ | ○ | ○ | △ | |
| <p>【保会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電機のパル管が約30分程度しかもたなかったため、足りなくなるのではないかと感じた。⇒日中は無線以外は電気を使用しない等、節電を検討。発電機が省エネモードになっているか確認が必要。 ・トリアージ黒の人の場所を確保する必要がある。⇒各救護所にトリアージ黒のスペースは確保している。ただし、人数が多く収容困難となる場合については、災害対策本部へ確認し調整することとする。 ・薬の場所、トリアージ黄の人の位置を今後検討。(トリアージ場所の近くに等) ⇒効率的な救護活動を行うため、配置等については必要に応じて検討を進めていく。 ・当日参集できた人数にもよるが、トリアージの記載は補助の人が記載するようにした方がよい。⇒今回は訓練だったため事前に役割を分担したが、実際の発災時は救護所責任者を中心に現場で各自の役割を分担することとなる。そのため、必要に応じて活動しやすいよう工夫してもらうこととなる。 <p>【1中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率よく伝達するために、記録・無線・ホワイトボード・パル管ライトの配置の確認が必要だと感じた。今回はペットの避難スペースがあり各役割の位置が遠かった。また、パル管ライトが1つしかないため、特に夜間は配置が重要になるのではないかと感じた。⇒今回の訓練では配置に少し変更があった。実際の発災時も被災状況等により思うように救護所を設置できないことも考えられるため、臨機応変に対応していきたい。 ・記録用紙を、受付→トリアージ→無線と回すのではなく、記録用紙を担当する者が一緒にトリアージチームとして動いた方がスムーズなのではないかと感じた。⇒各係の役割を再度検討し、必要に応じてアクションカードの変更も考えていきたい。ただ、参集状況によっても不足する役割等が出る場合があるため、臨機応変に役割を担うこととなる。 <p>【7中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・症例を通して搬送までの流れを確認したが、実際の災害現場で活かすにはまだまだ難しいと感じた。 <p>【保会・7中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時はAEDを定位置から救護所へ持ち出し、配置図の中に置く場所を決めておいた方がよいのではないかと感じた。(マニュアルに記載する必要があるのではないかと) ⇒救護所のみで使用するだけでなく、学校関係者や避難所関係者など不特定多数の方が使用する可能性があるため、救護所へ持ち出すことはできない。 | | | | | |